

2012年
6月4日
第320号



〒143-0023 東京都大田区山王4-21-5
山王ハイツ101
Tel. NTT 03-5743-2562 FAX 2570
J R 058-4502 (FAX兼)
Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

J R東海労働組合

発行人 淵上 利和
編集人 斉藤 孝紀

http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

原発ゼロを未来へつなごう!

原発ゼロの日、さようなら5・5 (ゴーゴー) 集会



5月5日、北海道電力泊原発3号機が定期検査に入り、日本の原発が42年ぶりに全てストップしました。原発の灯が消えたこの日、全国各地で多くの原発集会在開催されました。

集会主催者を代表して、ルポライターの鎌田慧さんが挨拶に立ち、「日本の原発が全て止まる歴史的な瞬間、子供の未来のため原発のない社会をつくる責任がある」と参加者に訴え、原発ゼロを未来につなぐために力を合わせて奮闘することを呼び掛けました。その後、現地報告や「ストレステストと再稼働の問題点」が報告され、各方面の3名から連帯スピーチ後、作家の落合恵子さんから、停止原発の廃炉と原発計画中止、もんじゅや再処理工場の運転断念とプルトニウム廃棄、エネルギー政策への転換要請を集会のまとめとして訴えました。



5月12日に風光明媚な和歌山県日高町を訪れた。この地は1967年に当時の町長が原発誘致を表明したことに端を発して、土地の買収から始まり、1981年には漁業権の買収の動きがあった。それ以来、その地域住民は推進派と反対派に分かれたそうである▼それ以来、冠婚葬祭を始め、幼稚園のスクールバスの座る位置まで分かれたというから、すさまじい争いがあったと想像がつく。いつの世も弱い立場の人間が翻弄される▼宿泊先の民宿の主人は当時は若き漁師であった。若い反対派の中心にいたのである。しかし、反対派は3名と少数であった。推進派は札束に目がくらんだ、金の亡者であった▼主人曰わく「金は自分で働いて稼ぐものだ。上から与えられた金は価値はない」と言い切る▼ある日、反対派の一人が裏切り推進派に変わったことを経験したそうである。しかし、主人は裏切った一人を糾弾せず迎え入れた。主人曰わく「彼は推進派にも入れず居場所がない」という。何処でも同じなんだと思つた▼ある時漁師が海に落ち、漁師全員で捜索を期に一体になれ、関西電力は手を引き、原発建設は無くなった。福島第一原発事故で住民は今、何を思うのだろうか。

た。集会主催者を代表して、ルポライターの鎌田慧さんが挨拶に立ち、「日本の原発が全て止まる歴史的な瞬間、子供の未来のため原発のない社会をつくる責任がある」と参加者に訴え、原発ゼロを未来につなぐために力を合わせて奮闘することを呼び掛けました。その後、現地報告や「ストレステストと再稼働の問題点」が報告され、各方面の3名から連帯スピーチ後、作家の落合恵子さんから、停止原発の廃炉と原発計画中止、もんじゅや再処理工場の運転断念とプルトニウム廃棄、エネルギー政策への転換要請を集会のまとめとして訴えました。

集会後のデモ行進では、組合旗を高々と掲げ「さようなら原発」とプリントされた鯉のぼり(上段に掲載)を手に、「原発いらぬ!」「福島返せ!」「命を守れ!」「原発の再稼働阻止!」「エネルギー政策の転換!」「原発輸出反対!」「核武装化反対!」とシユプレヒコールし街ゆく市民に原発に頼らない社会の実現を訴えました。日本国内の全原発が停止した現在、政府・各電力会社・原子力村に群がる輩、そしてマスコミは盛んに電力不足キャンペーンを繰り返している。

でも関西電力大飯原発3・4号機の再稼働を目論んでいます。しかし、再稼働に向けての安全対策は85項目中、33項目が未整備なのです。3年先に対策実施が盛り込まれていますが、全く未完な対策と言わなければなりません。私たちは何としてでも再稼働を止めなければなりません。東京電力福島第一原発事故で人間と核は共存できないことを改めて実感しました。地震立国のこの日本に原発は存在してはいけないのです。私たちJR東海労は原発の再稼働や日本の核武装化に反対します。原発に頼らない人と環境にやさしい社会の実現を目指そう。

厚生労働省へ60才以降の再雇用実現に向けた署名を提出!

個人署名 39,542筆・団体署名 878筆



高年齢者雇用対策課調査官に署名と要請書を手渡す

5月28日、本部・各地本代表はJR総連・萩原副委員長と共に厚生労働省を訪れ、60歳以降の再雇用条件撤廃を求め、JR総連の仲間の協力と全組合員が一丸となって取り組んできた署名(個人・団体)を提出すると共に、改めて再雇用を希望する全ての者が、60歳以降も安心して働けるための法制化を実現するよう強く要請してきました。

また、JR東海が定めている「49歳からの10年間に懲戒処分3回、ボーナスカット5回を受けた者は再雇用の対象外にする」という再雇用基準により、既に再雇用されないうことが決定してしまつた組合員の救済及び会社が恣意的な判断でボーナスカットを繰り返して、再

雇用基準を悪用してJR東海労働組合員を狙い撃ちにして再雇用差別を行っている実態を報告し、法律を悪用し不当労働行為を繰り返す会社を指導するよう要請しました。

今第180通常国会に「高年齢者雇用安定法改正」(案)が審議されようとしていますが、この改正案の中に、会社の裁量で再雇用不採用条件いわゆる「経過措置」が盛り込まれていません。会社が悪用できないような縛りをかけなければなりません。そのことが不当労働行為ポーンスカットに反撃する闘いにも繋がります。今回の要請を国会審議に反映するよう、国会議員などへも引き続き要請を強化します。

5月21日、名古屋ポーンスカット愛労委第5回審問が組合員・OB40名を超える仲間が参加し開催されました。今回の審問では、会社側証人、畑・長尾・長島の3名に対する主尋問と反対尋問が行われました。3名は当時、中津川・大垣・神領で助役としてポーンスカットの理由にされた非違行為を積み上げた張本人です。主尋問の質問には答えていきましたが、弁護士役の丹羽副委員長、中山執行委員、荻野書記長の組合側からの反対尋問では「忘れた」「記憶がない」などと曖昧に答えました。また、管理者からの主任レポート提出要請書を弾劾証拠として証拠提出により主任レポートに対する会社対応のデータメスが浮き彫りになりました。次回第6回審問は7月2日、13時30分より会社側証人下平・永田の審問が予定されています。多くの参加を!



名古屋ポーンスカット愛労委第5回審問



東京第二運輸所分会は5月22日、組合員約50名を集め組織破壊攻撃粉碎決起集会を開催しました。会場には、各地本分会から寄せられた「檄」や横断幕が所狭しと張り出されました。

主催者を代表して川野組織部長は「一連の組織破壊攻撃を断固跳ね返していく決意をうち固める場にしよう。『命令と服従・規律と忠誠心』職場支配に対し声を出し闘おう。そして報復処分撤回裁判に勝利しよう」と挨拶しました。

続いて、不当な攻撃を受け果敢に闘っている斉藤・内村・尾崎・庭山・廣瀬の5名の仲間から、それぞれの不当な攻撃に対して、「怒りを持って断固跳ね返し攻撃を粉碎するために闘う」と力強い決意表明がされました。集会参加者は組織破壊攻撃を職場から跳ね返すことを通じ、組織の強化・拡大を目指すことを確認し合いました。

東京第二運輸所分会 組織破壊攻撃粉碎決起集会開催

5月23日、静岡市西ヶ谷球場でJR東海労第21回野球大会が、絶好の野球日和の中、盛大に開催されました。組合員・OBそしてJR貨物東海の若き組合員、50名が参加し、熱戦が展開されました。開会式では、西村サークル議長の挨拶で始まり、本部木下副委員長から現状に対する闘いの報告が提起されました。

開会式後の第一試合は、貨物東海VS静岡の対戦で、貨物東海の若き打棒が勝利、2対0で貨物東海が勝利を納めました。続く第二試合は新幹線関西VS新幹線東京の伝統の対戦となり、両チーム譲らず3対3で好ゲームを展開しました。最後の第三試合はオールJR東海労VS貨物東海の対戦となり、序盤にオールJR東海労の集中



駿府の空に白球舞う! JR東海労 第21回野球大会

JR東海労第27回定期大会に結集しよう!

とき 6月17日(日) 10:30~
ところ 名古屋市鶴舞通信ビル大会議室

打があり、西村投手の好投も冴え、9対2でオールJR東海労が大勝利しました。各試合では珍プレーや好プレーが続出し、ベンチから絶え間ない声援を受けながら、終始和やかなムードで試合は進行しました。

その後、静岡駅構内に場所を移して大懇親会が行われました。野球よりもこの懇親会を楽しみにしていた選手が多くいました。懇親会では野球談義に花が咲き、互いの健闘を讃え合うとともに、あらためて本部サークル活動の素晴らしさを再確認し、第22回大会での再会を誓いながら盛大のうちに終了してきました。